

# 令和2年度全国標準学力検査(NRT)結果の概要

## 1 全国標準学力検査 (NRT) とは

### 【調査の目的】

子どもたちがこれまでの学習活動を通して獲得した基礎的、基本的な力や活用する力について、全国学力水準と比較して把握、分析し、今後の学習指導の充実と学習状況の改善に役立てています。

### 【実施について】

対象学年：小学校4、5、6 学年児童 1,364 人

中学校全学年生徒 1,512 人

実施教科：小学校 国語 算数 理科の3教科

中学校 国語 社会 数学 理科 英語（1 学年は除く）の5教科



## 2 今年度の結果

令和2年度 全国標準学力検査の結果				全国の学力偏差値を50として比較します					
小学校	国語	算数	理科	中学校	国語	社会	数学	理科	英語
4 年	○51.1	50.7	▽47.3	1 年	▽48.4	▼46.4	▽47.1	▼44.6	
5 年	49.4	49.0	▼46.0	2 年	50.0	▽48.2	50.4	▽48.1	50.3
6 年	50.2	49.9	▽47.0	3 年	49.8	▽47.8	50.7	▽47.7	50.8

●：全国平均を大きく上回る（53 以上）

印なし：概ね全国並み（49 以上～51 未満）

○：全国平均をやや上回る（51 以上～53 未満）

▽：全国平均をやや下回る（47 以上～49 未満）

▼：全国平均を大きく下回る（47 未満）

### 小学校

国語 4 年は全国を 1.1 ポイント上回り、5 年と 6 年は概ね全国並みでした。

算数 どの学年も概ね全国並みでした。

理科 4 年と 6 年が全国を約 3 ポイント下回り、5 年は 4.0 ポイント下回りました。

### 中学校

国語 1 年は全国を 1.6 ポイント下回り、2 年と 3 年は概ね全国並みでした。

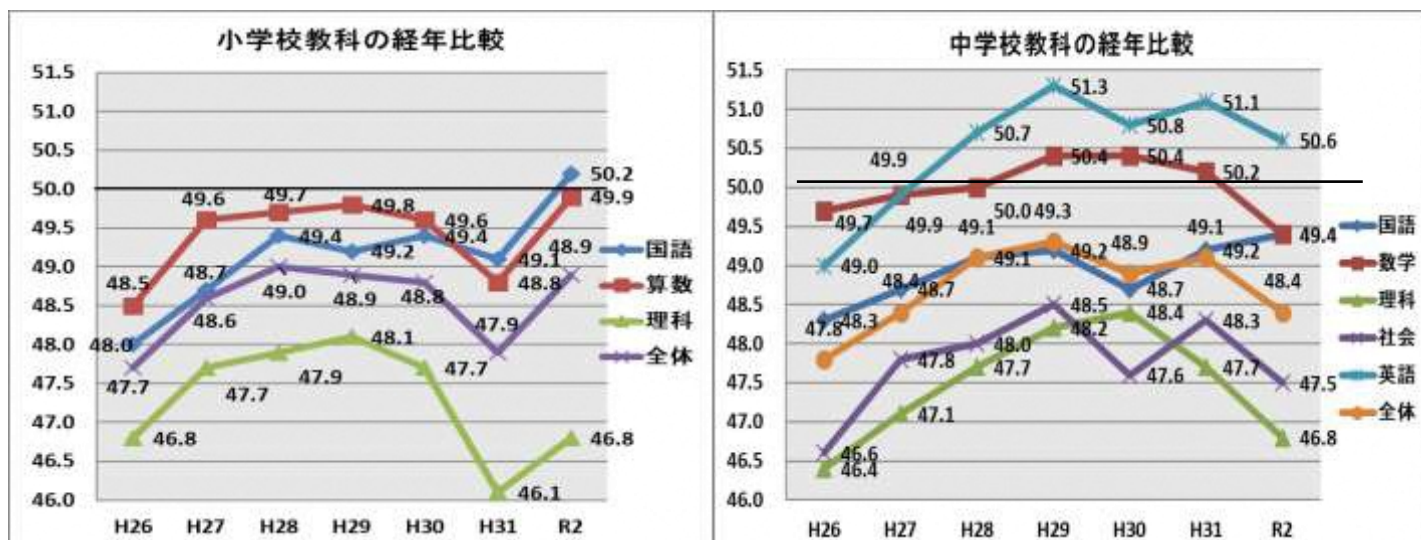
社会 2 年と 3 年は約 2 ポイント、1 年は 3.6 ポイント下回りました。

数学 1 年は全国を 2.9 ポイント下回り、2 年と 3 年は概ね全国並みでした。

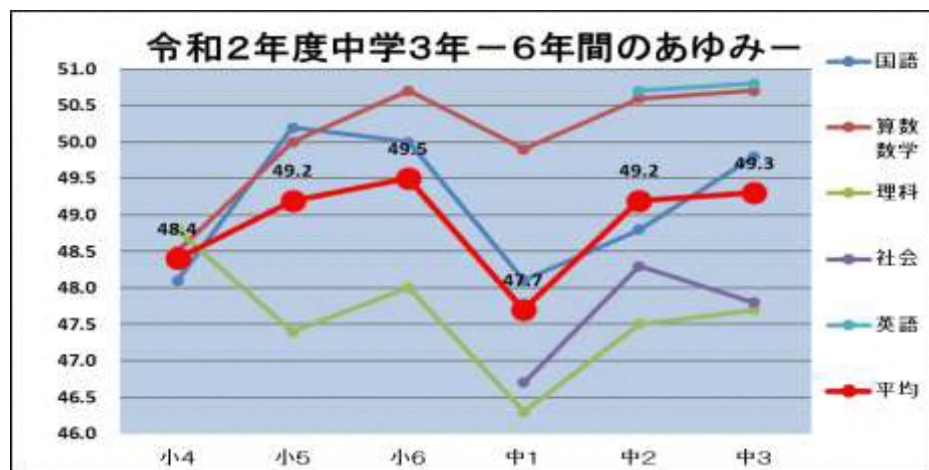
理科 2 年と 3 年は約 2 ポイント下回り、1 年は 5.4 ポイント下回りました。

英語 2 年、3 年とも概ね全国並みでした。

## 3 経年比較



#### 4 中学校3学年の6年間のあゆみ



左のグラフは、令和2年度の中学校3学年生が、小学4年から中学校3学年になるまでの、過去6年間の変化を示しています。

##### (1) 偏差値の変化

・全教科の**平均値**（小学校は3教科、中1は英語を除く4教科、中学校は5教科）は、小学4学年時と中学3学年時を比較すると、理科を除くすべての教科で学習の成果が表れました。また、6年間の変容から中学1学年の結果に課題が見られます。

##### ・各教科

**国語** 小6から中1でいったん落ち込みましたが、その後、中学3年間では毎年上昇しています。

**算数・数学** 小学校で毎年伸びが見られます。中2、中3では、改善傾向が見られます。

**理科** 6年間を通して課題が見られます。中2、中3でやや改善するものの、全国を下回っています。

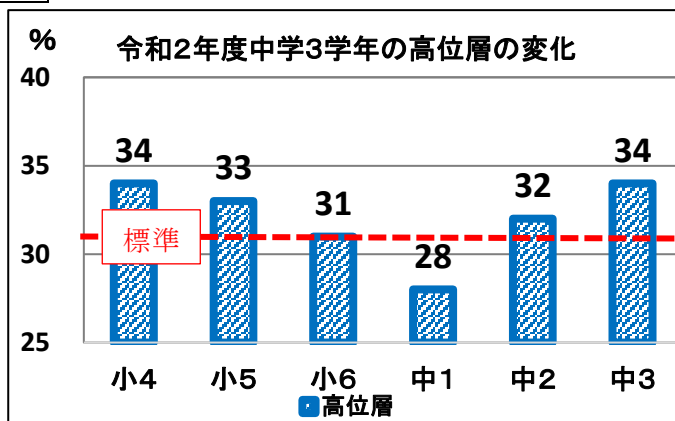
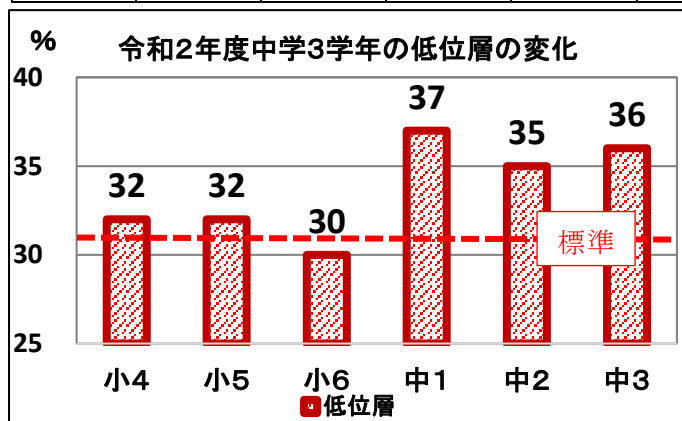
**社会** 中1から中2にかけて改善したものの、3年間を通して全国平均を下回っています。

**英語** 中2から中3にかけてやや改善にし、全国平均を上回っています。

##### (2) 低位層と高位層の変化

偏差値を5段階に分けたとき、1段階と2段階の合計を低位層、4段階と5段階の合計を高位層とします。

段階	1	2	3	4	5
偏差値	~34	35~44	45~54	55~64	65~



上のグラフは今年度の中3の、小4から中3までの低位層と高位層の割合の変化を示すグラフです。

**低位層** 低位層の割合は、小学校では全国水準でしたが、中学校では全国水準を上回りました。

**高位層** 高位層の割合は、中1で全国水準を下回りましたが、それ以外の学年では全国水準を上回りました。

#### 5 概要の考察

中学1年生の結果では課題が見られたものの、学年が上がるにつれて改善していきました。高位層の割合も全国水準を上回り、学習の成果が表れていました。

課題としては、中学3年時において、低位層の割合が全国水準より高いことが挙げられます。また、すべての学年で理科、社会に課題が見られました。